



「戦略的イノベーション創造プログラム（S I P）第2期／自動運転（システムとサービスの  
拡張）／社会的受容性の醸成に向けた戦略策定と評価に関する調査／総合的な戦略の策定、  
Web 等の情報発信に関する企画及び実施」

2019年度～2022年度

# 成果報告書

2023年3月

株式会社電鉄名鉄コミュニケーションズ  
株式会社住商アビーム自動車総合研究所

本報告書は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が管理法人を務め、内閣府が実施した「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期／自動運転（システムとサービスの拡張）」（NEDO 管理番号：JPNP18012）の成果をまとめたものです。

1) 株式会社電通名鉄コミュニケーションズ 受託分  
 (1) 社会的受容性の醸成に関する総合的な戦略の策定

【2019年度の活動】

2022年度までの長期ビジョンと2019年度、2020年度の具体的活動案を策定した。特に2020東京オリンピック・パラリンピックの主会場となる東京副都心地域を活用した展示会、試乗イベントなどの構想、会場候補地などについて検討を開始した。

Webサイトを開設・SNSを活用した情報発信と双方向のコミュニケーションを継続的に行う体制を整え、以後の活動のベースとした。



図 社会的受容性の醸成に係る取組の全体戦略

【2020年度の活動】

2022年度までの長期ビジョンを確認し2020年度の具体的活動案を策定した。

当年度は、新型コロナウイルス感染症拡大がまさに始まった時期であり、従来型のイベントの実施が制限され、計画の大幅な見直しを余儀なくされた。当初検討してきた東京オリンピック・パラリンピックでの東京副都心地域への注目を利用したイベントなども延期とした。対策として、ウェブセミナーなどのオンラインイベントの拡充、動画コンテンツの強化などを行い、withコロナ社会を見据えた活動を推進した。

“メディア向けコンテンツ”を強化することで、“一般”に対する認知を拡げる  
呼び水として、with/Afterコロナ社会を見据えたSIP-Caféとしてのフィロソフィーを強化する

● Webの継続と一層の活用

- ・ 発信内容が重要。これまでと同じトーンで発信していても、読み手に取って面白い記事にはならない。
- ・ ニュースを伝えるだけでなく、フィロソフィーやビジョン、主張を明確に示していく媒体に転換すべき。



● SNSによる情報発信&コミュニケーション



- ・ 新たにTwitterを開始。webとtwitterをつまく使い分けていく。
- ・ Twitterは、書き手の気づきをリアルタイムに発信して行くツールとする。書き手をはつきりさせることも重要。
- ・ フォローは、相互フォローが有効なことも多いので、フォロー先の選定は慎重に行う必要がある。
- ・ 一旦フォロー候補先を列挙（これは別途、名取様と相談）
- ・ 定期的に情報も発信する。（清水様、岩貞様、藤井様が発信か？）



● 動画の活用



- ・ 動画は、定期的に配信したいが、テストを行った結果、そのクオリティ担保が重要である。
- ・ 現在、機材をそろえ準備を行っている。
- ・ 動画の内容は、公開対談（鼎談） / 清水様、葛巻様、横山様他
- ・ 清水様が中心軸ではあるが、有本様がインタビューをする（有本様 × ●●様のような立て付けもあり）
- ・ その告知方法も検討が必要。インフルエンサー？



● PRについて / メディアが関心をもつ企画調整

- ・ 媒体各社が、新型コロナネタで疲れてきているため、コロナ外領域のニュース発信を求められている。
- ・ クルマ雑誌もネタ不足。そこには丁寧にSIPの情報を出していきたい。
- ・ どんどん各媒体に話をもっていく。（清水様、藤井様の動き）

図 2020 年度の取組強化ポイント検討資料

【2021 年度の活動】

2022 年度までの長期ビジョンを確認し 2021 年度の具体的活動案を策定した。2021 年度は、2020 年度に始まったコロナ対応について長期化を念頭に置いた with コロナ的施策を重視した。活動による広報ターゲットを明確化し、それぞれのターゲットに対する広報活動・イベントをバランス良く実行した。

2020 年度最後（3 月）の技術基準セミナー、中間成果発表会からの 2021 年度 4 月の第 1 回合同試乗会への流れでイベントをつなげ、一般の人を集めることは難しい中、メディアを中心に人数を絞りながらも積極的な訴求を行った。



図 アクションリスト

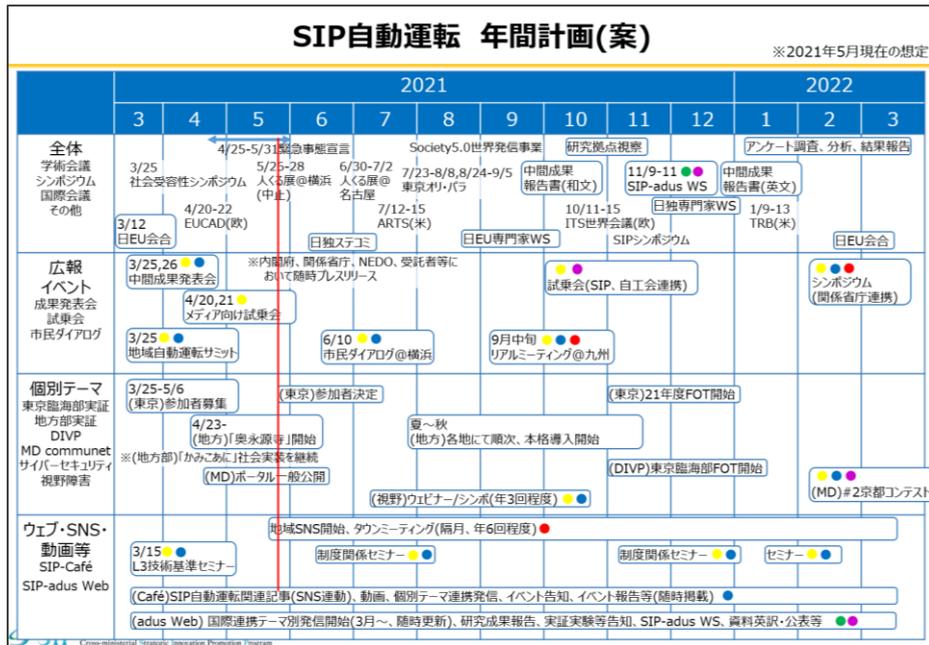


図 年間活動計画(当初)

【2022 年度の活動】

2022 年度の具体的な活動案を策定した。

当年度は、SIP 自動運転の最終年度であることから、将来への橋渡しを意識し、SIP 自動運転後も継続となる事業の広報支援を行うとともに、将来を担う Z 世代を中心とした若者世代（ある程度、取組内容を理解してもらえると考えられる大学生～若手社会人となる 30 代前半）への情報発信を重点に置き活動した。コロナ禍の下でのイベントも常態化する中、一般の人へのターゲットの拡大も含めイベント戦略を検討していった。

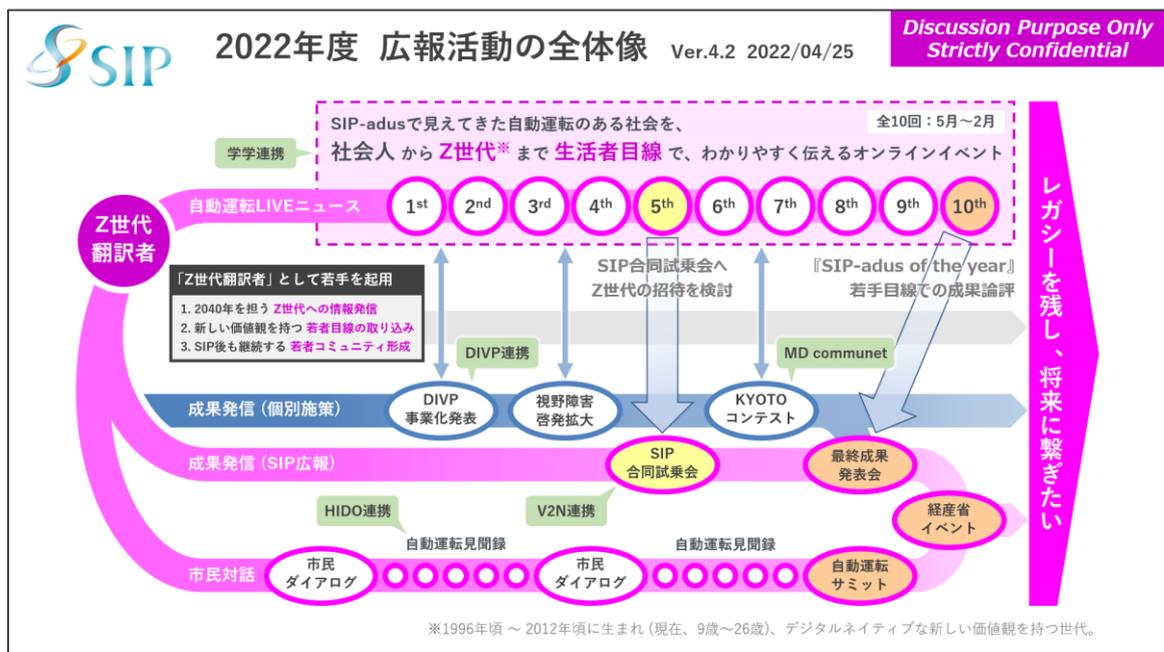


図 2022 年度広報活動の全体像

(2) 自動運転に関する情報発信に関する企画及び実施

(2-1) Web サイト及び双方向性の確保を目的とした SNS 等の企画・運営

- 2019 年度に HP 「SIP-Café (<https://sip-cafe.media/>)」を立ち上げた。ホームページの企画・設計、取材・制作、運営・管理一式を遂行し、その後のレギュラー作業の基礎となる体制を整えた。
- 2019 年度は SIP-Café に記事本数 108 本を掲載。またフェイスブックページ「一緒に考えよう、移動の自由のある未来社会@SIPADUS」を立ち上げ HP と連携した体制整備と行った。さらに情報サイト「Response」内にて自動運転特集ページを設置、SIP-Café 内より編集部がセレクトした記事を転載、2020 年 2 月末までで 1 万ビュー以上を獲得した。Response 特集ページへの記事転載は 2020 年 6 月まで続いた。



＜SIP-Café トップページ＞



＜SIP-Café 内記事ページ＞



＜情報サイト「Response」内特集ページ＞

- 2020 年度以降も引き続き SIP-Café の企画・運営、フェイスブックページとの連携企画を継続。2020 年度は記事 200 本、2021 年度は記事 166 本を掲載。2022 年度は 57 本(12 月末)の記事を掲載した。

- 2020 年度各月のページビュー (PV) 数は以下。

年	2020									2021		
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
PV	7,994	6,361	8,182	10,020	8,366	10,221	11,250	11,416	9,555	9,908	8,043	15,812

- 2021 年度各月のページビュー数は以下。

年	2021									2022		
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
PV	12,414	10,017	14,707	13,879	12,820	14,137	12,494	10,345	10,726	10,954	8,940	11,177

- 2022 年度各月のページビュー数は以下。

年	2022									2023		
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
PV	10,188	10,782	12,154	10,631	9,268	9,921	9,449	8,346	6,487	7,367	8,125	-

- SIP-Café の作成と運営については当初計画通りに進行し、多くの記事やその他コンテンツを蓄積できた。雑誌など商業メディアがまだ充実していない自動運転分野において、広く市民が知識を求めることができる数少ないサイトであると自認し、取材記事、動画など最先端感とリアル感を重視した発信を実現できたことは意義深いものとする。
- 新型コロナウイルスの感染拡大の影響はあまり大きくなかったともいえるが、表にはあまり出ていないが取材やその準備などの面でかなりの制約を受けていた。その中で実証実験受託者の取材やイベントのレポートなど外へ出て多くの記事を作成したことは、生活の中で行動の制約を多く受けながら情報を集めている視聴者に対して質の高い情報を発信できたものと確信しており、その面からも有意義な事業であった。

(2-2) マスメディア向けの周知活動の企画及び実施

【2019 年度】

- 2019 年 10 月 SIP 臨海部実証実験の発表会においてメディア誘致を実施。



◀ SIP 臨海部実証実験発表会取材記事

- 2020年1月オートモーティブワールドにて葛巻PD、清水和夫氏のカンファレンスを実施しメディア誘致を実施。



〈オートモーティブワールド 2020 告知ページ〉

#### 【2020年度】

- 2020年9月、東京臨海部実証実験取材会をメディア向けに開催、Car Watch/くるまのニュース/カービュー/GLOBE+/カートップに掲載



〈実証実験取材会〉

- 2020年12月、東京臨海部実証実験における自動運転バスの試乗会を実施
  - 「11月26日、井上内閣府特命担当大臣（科学技術政策）は、戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）自動運転（システムとサービスの拡張）が進める東京臨海部における自動運転の実証実験において、羽田空港地域の公道で実施している自動運転バスに試乗し、引き続き自動運転の実用化に向けた取組みを進めていくことを確認しました。（内閣府ホームページより）」



〈自動運転バス試乗会〉

- 2021年3月、技術基準セミナー（オンライン）を実施
  - 国土交通省 自動車局 技術 環境政策課自動運転戦略官 多田善隆氏/日本自動車工業会 自動運転検討会 主査 横山利夫氏（本田技研工業）を講師に招き実施
  - 760人を超える視聴登録があり常時500人が閲覧した

#### 【2021年度】

- 2021年4月有明の温浴施設駐車場を借用して自動車メーカ、サプライヤ等合同の試乗会を企画、実施（第1回合同試乗会）。
  - 目的
    - ◇ SIP自動運転における協調領域の取組の成果（高精度3次元地図、信号情報提供環境の提供等）が、各社の最新モデルに搭載されている高度運転支援や自動運転システムの製品化に貢献していることを、メディアを対象に、SIP自動運転の取組の説明や東京臨海部実証実験の参加者車両への試乗等により、SIP自動運転の社会的意義や自動運転の現状への理解を促進

- 日時・場所
  - ◇ 2021年4月20日(火)~21日(水) 8時~18時(実証実験車両については、9時~17時)
  - ◇ 大江戸温泉駐車場(東京都江東区青海2丁目6番3号)及び東京クルーズターミナル第2駐車場(コンチネタル)
- 出展者
  - ◇ 技術要件/高精度3次元地図、交通環境情報(信号情報、合流情報、規制情報など)を少なくとも一つ以上使用するレベル2~4の車両で、実証実験車両又は既に商品化されている車両
  - ◇ 出展者(試乗車)/ヴァレオ(DRIVE4U® レベル4相当ADS1台)、金沢大学(Lexus Rx450hL改 市街地におけるレベル4相当ADS2台)、コンチネタル(レベル4を目指したADS車両2台(乗用車タイプ、EasyMile改))、スバル(LEVORG3台)、ティアフォー(JPN Taxi改2台)、トヨタ(LEXUS LS1台、TOYOTA MIRAI1台)、日産(SKYLINE2台)、ホンダ(LEGEND4台)、日野・トヨタ(展示:自動運転機能付きSORA1台) 計9社
- 参加者/SIP自動運転(システムとサービスの拡張)、出展社等とつながりのあるメディア関係者

	メディア数	参加人数
20日(火)	24社	53名
21日(水)	30社	49名
合計	54社	102名

- 実施概要
  - ◇ SIP自動運転において、メディア向けの試乗会の場を提供し、自動車メーカー、サプライヤからの参加を得て、試乗会を実施。試乗にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策、安全ブリーフィングを実施。試乗会のエリアで、葛巻PD、モータージャーナリストの清水氏、石井氏、FOTリーダーの南方氏から、SIP自動運転の東京臨海部実証実験等についてブリーフィングを実施した。
  - ◇ 井上信治内閣府特命担当大臣(科学技術政策)に、内閣府合同庁舎から、湾岸道路等を経由して、試乗会会場まで、世界初の自動運行装置(トラフィックジャムパイロット)等を搭載するホンダレジェンドに試乗いただいた。試乗、視察後の取材においては、技術的、制度的な課題もあるが、未来に向けた夢のある技術として、引き続き産学官が連携して技術開発を進めてまいりたい。私は万博担当大臣でもあり、2025年の大阪・関西万博で我が国の技術を広く訴求していきたいなどのご発言があった。
- 実施者、出展者等の所感、実施者による参加者のコメント等
  - ◇ 各自動車メーカーやサプライヤ、大学等が一同に集まることでジャーナリストだけではなく、各社の技術者や広報担当等も意見・情報交換できるいい機会だった。
  - ◇ ジャーナリストは、各社それぞれではなく、A社の次は、B,C社と乗り比べができたので、各社の開発ポリシーが、よく理解出来たのではないかと思います。
  - ◇ 各社広報を巻き込んだので、SIP自動運転の実証車両に留まらず、最新の市販車を集めることができたので、より現実感があった
  - ◇ ブリーフィングを定期的に行うことで、ほぼすべてのメディアが参加でき、SIP自動運転の活動についての理解が深まった。

- ◇ 自動車メーカ各社からは、言いにくいことを SIP 自動運転が言ってくれた、同じ日に比較できたので個社の特徴が理解できたとの意見を頂戴した。
- ◇ サプライヤからは、臨海部実証実験以外の取組を知ってもらった、普段リーチできないメディアとコミュニケーションできたなどの意見を頂戴した。
- ◇ メディアからは、原稿が書きやすくなった、ファクトとオピニオンを明確にできたなどの意見を頂戴した。

➤ 露出状況

- ◇ 4月21日（水）早朝5時 日本テレビ オンエア

- <https://www.news24.jp/articles/2021/04/20/06859573.html>



- 内容（公式 WEB サイトより）／政府や自動車メーカなどが連携し自動運転の研究開発を進めるプロジェクトで、最新の自動運転技術が搭載されたクルマが一堂に会しました。これは自動車メーカからトヨタ、日産、ホンダ、スバルの4社のほかベンチャー企業や大学、部品メーカが参加した試乗会で、最新の自動運転や運転支援の技術が搭載されたクルマが勢ぞろいしました。手放して運転できる高度運転支援システムを搭載した市販車や、決められた場所など一定の条件下で無人運転が可能な自動運転「レベル4」に相当する技術を搭載した車両が公道を走ります。現在の法律では、システムが自動で運転する場合でも、運転席には人がいる必要がありますが、緊急時以外の自動運転では乗っているだけですみます。他にも、信号が変わるタイミングを通信で受信し、赤信号の場合には前もって自動で緩やかに減速を行う技術や、草や木が邪魔で目視できないクルマや人も、レーダで捉えて動きを予測し、減速やハンドルの操作を自動で行う技術など、最新の技術が搭載された実験中のクルマも公開されました。このプロジェクトでは、2025年をめどに「レベル4」の実用化を目指して、産学官で協力して法整備を進めていきたいということです。

- ◇ 4月22日（木）テレビ朝日 ANN ニュース

- [https://www.youtube.com/watch?v=\\_M050EWgBLA](https://www.youtube.com/watch?v=_M050EWgBLA)



- 内容（公式 WEB サイトより）／最先端の自動運転技術を搭載した車が一堂に会しました。金沢大学が開発した自動運転車は信号機からの情報を無線で受け取るシ

システムを搭載しています。天候不良や逆光などでセンサによる感知が難しい時に信号機からの情報をどう活用できるかの実証を進めています。大学が開発する自動運転車のほか、自動車メーカーが市販する最新の運転支援システムが搭載された車が一斉に公開されました。[テレ朝news] <https://news.tv-asahi.co.jp>

- 2021年10月東京国際クルーズターミナル第2駐車場を中心に、第2回合同試乗会を実施(マスタープランを作成)。
  - 会場借用のために東京都と調整
  - メディアに加え課題評価委員、推進委員の試乗等も予定され、各方面の調整を実施
  - 視野障害の体験テントも準備

#### 【2022年度】

- 2022年10月の第3回合同試乗会の実施に向けたマスタープラン策定と会場調整を行った。
  - メディアに加え一般来場者を想定。学生や教員への告知も行うとともに土曜日を開催日に含め来場を促した
  - 東京都の公有地の借用を働きかけゆとりあるスペースでのイベント開催を実現した
  - プレゼンテーションスペースを設けてセミナーを実施、また JARI や DIVP® など試乗を伴わない展示にも注力し、試乗をしなくても役立つイベントの方向性にチャレンジした

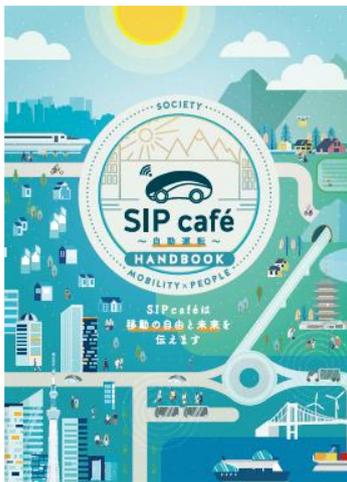
#### (2-3) 自動運転に関する問い合わせ窓口の設置及び運営

- WEBサイトにお問い合わせ窓口を設置(2019年度)。メールにて問い合わせを受けた場合、3営業日以内に返信をするよう体制整備(～2022年度)。

#### (3) 情報発信に関する印刷物、解説動画の作成等

##### 【2019年度】

- 印刷物：パンフレット（SIPの活動を紹介する小冊子）2,200部を作成。



〈小冊子表紙〉

- 説明パネル、展示物の制作：ピンバッジ 290個（ピンズ 230個/ダイバー式 30個/ワニ口 30個）作成/缶バッジ（2色）2,000個を作成



〈ピンバッジ〉

##### 【2020年度】

- PR動画：2020年度はコロナ禍の影響で実験が順調でないところや取材がままならない研究主

体もあったため、オンライン取材などを駆使し 15 本を制作し SIP-Cafe 上で公開。また実証実験の現場の取材動画を 3 本制作し 2021 年 3 月の中間成果発表会上で活用された

【2021 年度】

- 危機管理広報設計業務
  - 臨海部実証実験において万が一事故があった際、主催者としてどのように対応すべきかマニュアルを作成した
  - ニュースリリース案（既存のマニュアルの修正に加えて事故レベルの軽重想定や実験外事故の案を追加）
  - 想定 Q 案
  - メディア対応シート

【2022 年度】

- ムック本（誌名：「SIP 自動運転の成果とその先へ！」）の制作
  - SIP 第 2 期の最終年度であること、自動運転分野のプログラムの進捗についての確認と次代への継承を意図
  - SIP 第 1 期の黎明期から、時代背景や関わる人の意識に焦点を当て、9 年間を振り返った冊子を、インタビューをベースにして制作
  - 800 部を制作し関係者と 2023 年 3 月開催の成果展示会にて配布
- 東京臨海部実証実験動画の制作
  - 実験が再開された東京臨海部実証実験の V2N による 4 分野「模擬緊急車両位置情報」「降雨情報」「信号情報」「渋滞車線予測」の説明動画を制作
  - SIP-Café へのアップ、2023 年 3 月開催の成果展示会における放映などに使用

(4) 東京臨海部実証実験等の場を活用したイベントの企画及び管理

(4-1) (1)で策定した戦略に基づき、社会的受容性の醸成に資するイベントを企画した。

【2019 年度】

- 2020 年 7 月に開催予定のイベントの会場調整、展示内容及びゾーニング基本案の制作を行った。

【2020 年度】

- (1)で策定した戦略に基づき、社会的受容性の醸成に資するイベントの企画を制作。2020 年 7 月開催の当初予定から 2021 年 3 月に開催時期を変更(中間成果発表会)。実施設計に先立ち検討を進めるための会場調整とマスタープラン案の制作を行った。

【2021 年度】

- 長引くコロナ禍の下での 2022 年度(SIP 第 2 期最終年度)に向けてウェビナー、メディア向け施策、制作物(冊子、動画)などの企画調整、プラン検討を行った。

【2022 年度】

- 住商アビーム自動車総合研究所受託事業である自動運転 LIVE NEWS の告知支援として PR 作業代行等を行った。PR TIMES を活用。

(4-2) 社会的受容性の醸成を図る観点からイベント等を提案する。

【2019 年度】

- 社会的受容性の醸成を図る観点から次のイベントや制作物を提案した。
  - 2020 年 7 月に開催予定の PR イベント
  - 2021 年春ごろに開催予定の SIP 自動運転(システムとサービスの拡張)成果発表イベント
  - 2020 年度以降の市民対話イベント

- SIP 自動運転(システムとサービスの拡張)の別施策と連携したイベント
- その他イベント(東京モーターショー)への出展等の検討と提案
- 東京臨海部実証 PR 動画 3 本を作成

【2020 年度】

- 社会的受容性の醸成を図る観点から次のイベントや制作物を提案した。
  - 2021 年春に開催する SIP 自動運転(システムとサービスの拡張)成果発表イベント…中間成果発表会として 3 月開催
  - 2020 年度以降の市民対話イベント…3 月に地域自動運転サミットとして住商アビーム自動車総合研究所により開催
  - 東京臨海部実証 PR 動画 3 本を作成…中間成果発表会で公開

【2021 年度】

- 社会的受容性の醸成を図る観点から次のイベント等を提案した。
  - 長引くコロナ禍の下でオンラインを活用し、4 回シリーズによるウェブセミナーを企画
  - 2021 年 3 月(2020 年度)の中間成果発表会に連なるメディア向け試乗会を企画 ((2-2) マスメディア向けの周知活動の企画及び実施 【2021 年度】 の欄にて既出)
  - 2021 年 10 月に実施を検討されたメディア向け試乗会企画

【2022 年度】

- 社会的受容性の醸成を図る観点から次のイベント等を提案した。
  - 2022 年 10 月に実施を検討されたメディア・一般向け試乗会企画
  - 2023 年 3 月を目指した最終成果展示会

## 第1章 「視野障害について考える SIP-adus ウェビナー」報告

### I. 企画趣旨

2021年度は、前年度に実施した視野障害ドライバーに対する高度運転支援システムに関する研究成果も踏まえ、視野障害と運転の問題について啓発するため、全3回の「視野障害について考える SIP-adus ウェビナー」(以下「視野障害ウェビナー」)を実施した。

#### 1. 実施目的

視野障害の現状や視野障害が運転に及ぼす影響について市民や関係業界等に正しく伝えること。

#### 2. 各回のテーマ・内容

- 第1回「視野障害と自動運転の交叉点」: 視野障害とはなにか。病名、症状、治療方法の現状について。
- 第2回「運転免許と視野障害 ～有病者の運転と就労を考える」: 現在の制度の現状と課題。運転免許、就業、診察に関する問題について。
- 第3回「視野障害と運転支援システム ～技術の現在地と未来～」: 視野障害を支える自動車技術の研究開発の現状と今後について。

以下では、全3回の開催結果を順に報告するとともに、小括として、各回で得られた示唆、参加者の状況および今後の社会的受容性の醸成に向けた課題について述べる。

### II. 第1回ウェビナー報告

#### 1. 開催概要

第1回について、以下の概要の通り実施した。

- 日時 2021年7月8日(木) 午後1時00分～2時30分
- 開催方法 オンライン開催(参加無料)
- テーマ 「視野障害と自動運転の交叉点」
- 登壇者等
  - ◇ 神戸アイセンター病院 研究センター長 高橋政代氏(基調講演・パネルディスカッション登壇)
  - ◇ 西葛西・井上眼科病院 副院長 國松志保氏(基調講演・パネルディスカッション登壇)
  - ◇ 筑波大学 教授 伊藤誠氏(パネルディスカッション登壇)
  - ◇ SIP自動運転 サービス実装推進WG 構成員 国際モータージャーナリスト 清水和夫氏(総括担当)
  - ◇ SIP自動運転 推進委員会構成員 モータージャーナリスト 岩貞るみこ氏(司会・モデレーター)
- プログラム
  - ◇ 冒頭挨拶: 清水和夫氏
  - ◇ 基調講演 「技術を育てる - iPS細胞と自動運転の共通点」: 高橋政代氏
  - ◇ 啓発動画 「[緑内障運転絵巻](https://www.youtube.com/watch?v=raDEAJx0xxI)」(国際交通安全学会制作)  
(<https://www.youtube.com/watch?v=raDEAJx0xxI>)
  - ◇ 基調講演 「症例紹介『運転外来の現場より』」: 國松志保氏
  - ◇ パネルディスカッション(代表質問および視聴者Q&A)  
: 高橋政代氏、國松志保氏、伊藤誠氏、岩貞るみこ氏

## 2. 取材・報道

以下の4社から取材希望があり、うち①は開催前に告知記事を掲載。

①自動車専門ウェブメディア「GENROQ Web」、②交通毎日新聞、③読売新聞、④NEXT MOBILITY

また、事後の報道としては以下のものがあつた。

① 2021年7月15日付 交通毎日新聞「内閣府 SIP 自動運転関連行事 「視野障害」でセミナー」  
(別紙3)

② 2021年7月14日付 Merkmal「[信号見落としの原因は注意力でなく「目」？ 自覚しにくい視野障害 40歳以上は5%が緑内障](https://merkmal-biz.jp/post/3319)」(<https://merkmal-biz.jp/post/3319>)

※Merkmalの「週間注目記事ランキング」で一時、第1位となった。

## 3. 討議の様子



## 4. 概括

- 講演およびパネルディスカッションでは、まずは視野障害の存在を知り、自分が視野障害である可能性を疑って早期に受診・発見することの重要性、治療を継続することの重要性が、各登壇者から述べられた。また、臨床経験から、家族や企業の安全担当者など周囲の人が運転時の異変に気付いて受診を促すことも、重要な発見機会となっていることが分かった。
- 視野障害の患者・予備軍の人の中には、「眼科に行くと運転免許を取り上げられる」と思って受診をためらう人がおり、この誤解を解くことが重要であるとの意見も一致して見られた。視野障害の程度はグラデーション様にさまざまであり、正常視野の人とほとんど同じく運転に支障のない場合もある。正しく治療を継続することで視野障害があっても運転を続けることができるということも、広く啓発されるべきといえる。
- 運転支援機能の一部はすでに一定程度の技術的レベルにあり、視野障害者の運転支援として有望である。代表的と考えられる音声支援機能においては、どの障害物や事象をリスクと捉え、如何に取捨選択して運転手に伝えるかという点に課題がある。また、自動ブレーキ等の運転支援機能は既に実用化

されているものもあるが、運転手のもつ症状に対してどの運転支援機能が適しているか等については十分な説明がなされていないとの指摘もあった。

- 視野障害に関する啓発・周知に関して、既に行われている啓発動画等の取り組みはもちろんあるが、同時に、一般の方ひとりひとりが視野障害の存在を頭に置き、自分や家族、仕事上関わる人達に対して、疑問に思うことがあれば視野障害の可能性を疑ったり、周囲との会話を通じて認識を広げたりすることが有用だと考えられる。
- アンケートの自由記述から、多様な属性の方にご参加頂き、視野障害と運転の問題について認知頂いたことが読み取れた。医療関係では、眼科医の方から「(これまでとは) 違った視点で視覚障害というものを認識でき (た)」、視野障害を有する方から「自分の現状の問題にあてはめて身につまされた」とのコメントがあった。また、自動車の開発に携わる方から、「今後の開発に活かしたい」旨のコメントや、保険業界の方から「今まで当事者も考えもしなかった自動車事故原因」があったのではないかと、「保険でそれを何とかできないのか」と、今後に向けた示唆を含むコメントがあった。視野障害と運転の問題について市民や関係業界等に正しく伝え、認知してもらうという企画目的にも適う反響が得られたと考えている。
- 今回のディスカッションにおいては、視野障害疑いのあるドライバーが運転を継続できなくなることを恐れて眼科受診をためらう問題が指摘された。第2回では運転免許や就業の問題をテーマとして取り上げることから、この問題についてもより深い議論を行うことができるよう配慮したい。
- 運営面の課題として、視聴者の裾野を広げることを目指したい。本ウェビナーは、一般市民よりは各業界関係者を主な視聴者として想定しているが、より幅広い業界関係者に視聴いただくため、従来アクセスが確立できていない医療業界への告知活動を行うとともに、各種メディアを通じた広報活動を行いたい。

### Ⅲ. 第2回ウェビナー報告

#### 1. 開催概要

第2回について、以下の概要の通り実施した。

- 日時 2021年9月2日(木) 13:00-14:30
- 開催方法 オンライン開催(参加無料)
- テーマ 「運転免許と視野障害～有病者の運転と就労を考える」
- 登壇者等
  - ◇ たじみ岩瀬眼科 院長 岩瀬愛子氏(基調講演・パネルディスカッション登壇)
  - ◇ 神戸アイセンター病院 研究センター長 高橋政代氏(パネルディスカッション登壇)
  - ◇ 西葛西・井上眼科病院 副院長 國松志保氏(パネルディスカッション登壇)
  - ◇ SIP自動運転 サービス実装推進WG 構成員 国際モータージャーナリスト 清水和夫氏(総括担当)
  - ◇ SIP自動運転 推進委員会構成員 モータージャーナリスト 岩貞るみこ氏(司会・モデレーター)
  - ◇ 林愛子氏(Q&A紹介)
- プログラム
  - ◇ 冒頭挨拶 「SIP自動運転の取り組みと視野障害の関係」: 清水和夫氏
  - ◇ 基調講演 「運転と視野 -現状と課題-」: 岩瀬愛子氏
  - ◇ 事例紹介 「視野障害ドライバーに対する企業の対応例」: 岩貞るみこ氏
  - ◇ パネルディスカッション(代表質問および視聴者Q&A)  
: 高橋政代氏、國松志保氏、伊藤誠氏、岩貞るみこ氏

## 2. 取材・報道

NEXT MOBILITY から取材希望があった。また、米国の技術リサーチ会社 VSI-Labs よりコンタクトがあり、第3回のテーマに関心があり取材を検討したい旨の言及があった。

ウェビナー実施後に確認したところ、複数媒体（Response.、グーネットマガジン、carview!等）に岩貞るみこ氏執筆の記事が掲載されたほか（①）、本ウェビナーに言及した石井昌道氏の記事がグーネットマガジンに掲載された（②）。

① 2021年9月9日「40代の20人に1人が緑内障、「視覚障害」を早期発見するには【岩貞るみこの人道車医】」（<https://response.jp/article/2021/09/09/349321.html>）

② 2021年9月3日「自動運転技術は視覚障害を救うか【石井昌道の自動車テクノロジー最前線 第21回】」（<https://www.goo-net.com/magazine/newmodel/car-technology/51455/>）

## 3. 討議の様子（当日のウェビナー画面）



上段左から、岩貞るみこ氏、岩瀬愛子氏。下段左から、國松志保氏、清水和夫氏、高橋政代氏。

## 4. 概括

- 視野障害において早期発見が重要であることは第1回開催でも指摘されたとおりで、定期健康診断の検査項目に視野検査が含まれない等、行政・企業において視野障害を発見するための仕組みが十分とは言えない。運転免許更新にあたって簡易視野検査器を用いた視野検査を取り入れる等の動きが始まっているが、自主的に視野検査を受けることを含め、気づきの機会を設けることが重要。
- 視野障害は、治療により進行を遅らせることで運転を継続することも可能であり、視野の欠点を補う「補償行動」等によって、実際に視野障害ドライバーの事故率は正常視野ドライバーと変わらないというデータもある。視野欠損の部位も、補償行動の程度も個人によって多様であり、一人一人に合った対策が必要。
- 一方で、企業によっては、十分な個別検証なく視野障害ドライバーを解雇してしまう事例がある。企業側の理解を促進するとともに、眼科専門医のアドバイスを踏まえて産業医や会社が慎重かつ適切に判断できる環境整備が必要。配置換えなど雇用を継続するための工夫や意識の向上も望まれる。

- 高度運転支援の機能は視野障害ドライバーの運転に役立つことが期待される。例えば、衝突被害軽減ブレーキの義務化は前進と捉えられる。信号に気を取られすぎる視野障害ドライバーのためには、信号放置システム等も有用と考えられる。
- 運転支援機能の開発にあたって、視覚障害・視野障害の人に焦点を当てて開発すれば、視覚障害・視野障害の人にとっても役に立つものになるとの意見があった。眼科医の立場からは、いわば処方箋のように、症状のパターンに応じて適切な運転支援機能を選択するようなアプローチが期待される。一方で、視野障害の症状や状況は人それぞれであるため、技術の適用も一概には行かないと考えられる。第3回開催においては自動車技術について取り上げる予定であることから、この点の議論を深めたい。

#### IV. 第3回ウェビナー報告

##### 1. 開催概要

第3回ウェビナーを以下の概要の通り実施した。

- 日時 2022年1月11日(火) 15:00-16:30
- 開催方法 オンライン開催(参加無料)
- テーマ 「視野障害と運転支援システム ～技術の現在地と未来～」
- 登壇者等
  - ◇ 名古屋大学未来社会創造機構 特任教授 青木宏文氏(基調講演・パネルディスカッション)
  - ◇ 株式会社本田技術研究所 先進技術研究所 エグゼクティブチーフエンジニア 杉本洋一氏(基調講演・パネルディスカッション)
  - ◇ 大阪大学社会ソリューションイニシアティブ 特任准教授 小出直史氏(パネルディスカッション)
  - ◇
  - ◇ SIP自動運転 サービス実装推進WG 構成員 国際モータージャーナリスト 清水和夫氏(総括担当兼モデレーター)
  - ◇ SIP自動運転 推進委員会構成員 モータージャーナリスト 岩貞るみこ氏(司会)
  - プログラム
    - ◇ 冒頭挨拶: 清水和夫氏
    - ◇ 基調講演「高精度大型DS(ドライビング・シミュレータ)を用いた視野障害を有するドライバーの視認行動のモデル化と運転支援システムによる事故低減効果シミュレーション」: 青木宏文氏
    - ◇ 基調講演「先進運転支援システムの最新開発状況と今後の展開」: 杉本洋一氏
    - ◇ パネルディスカッション・視聴者Q&A: 青木宏文氏、杉本洋一氏、小出直史氏、清水和夫氏

##### 2. 参加登録者数およびアンケート

- 参加登録者数は過去最高の472名。アンケート回答者82名のうち、関心のあるテーマとして「高度運転支援の技術的課題」と「ドライバーと高度運転支援システムの協調」との回答がともに57件で最多となった。一方で、自由記述コメントにおいては、社会の現状と運転支援・視野障害との関係、免許を含む制度面との整合、事故の責任問題を含む社会・倫理的課題に対する関心も示され、技術を取り巻く社会・制度面への関心の広がりもうかがわれた。

##### 3. 取材・報道

- (株)自動車新聞社のモビリティサービス専門Webメディア「LIGARE(リガーレ)」より取材希望があり、有料記事としてレポートが掲載された(<https://ligare.news/story/sip-adus/>)。内容は別紙3

の通り。

#### 4. 討議の様子（当日のウェビナー画面）



#### 5. 概括

- 中程度以上の視野障害と交通事故には相関が認められる一方、視野障害を自覚して通常以上に注意深く運転する「補償行動」によって、事故の発生確率は低減できる。同時に、先進運転支援システムによって事故の発生を抑えられることも、シミュレーション分析から分かってきている。
- すべての交通参加者が安全に過ごすために、自動運転技術および運転支援技術が果たす役割は重要。現在開発されている技術は、交通死亡事故類型の半数弱をカバーしているが、残りの類型をもカバーすべく、技術開発が進められている。そこでは、機械と人が互いに状況を理解し合い、周囲の環境と協調していく「協調人工知能」の考え方が取り入れられている。
- ユーザーにとっての関心事は、製品技術の知識ではなく、結果として安全に過ごせる状態や社会。一方で、ユーザーが製品を理解したほうが機能を使いこなせる場合もある。ユーザーに理解してもらうための仕組み、トレーニング、ソフト等がセットで提供される必要がある。技術に対して知識や関心のあるユーザーだけが安全を享受し、そうでない人が置いて行かれる構造とならないよう、ユーザーが理解しやすい考え方や仕組みにどう落とし込んでいくかが重要。

### V. 視野障害ウェビナー小括

1. 各回で得られた示唆
  - 第1回では、まずは視野障害の存在を知り、自分が視野障害である可能性を疑って早期に受診・発見することの重要性、治療を継続することの重要性が確認された。また、家族や企業の安全担当者など周囲の人が運転時の異変に気付いて受診を促すことも、重要な発見機会となっていることが分かった。さらに、医療関係者から、運転支援機能の一部はすでに一定程度の技術的レベルにあり、視野障害者の運転支援として有望であるとの意見が示された。一方で、視野障害疑いのあるドライバーが運転を継続できなくなることを恐れて眼科受診をためらう問題が指摘され、この点について第2回ウェビナーにおける深掘り議論が期待された。
  - 第2回では、治療により視野障害の進行を遅らせることで運転可能な視野を維持すること、視野の欠点を補う「補償行動」によるリカバリーが可能であることなど、視野障害を有しながらも運転を継続することの可能性や方策についての指摘が多くなされた。一方で、企業によっては十分な個別検証なく視野障害ドライバーを解雇する等の事例もみられ、企業側の理解を促進するとともに、眼科専門医のアドバイスを踏まえて産業医や会社が慎重かつ適切に判断できる環境整備が必要との認識が共有された。また、運転支援機能の開発にあたり、視覚障害の人に焦点を当てて開発することで、視野障害ドライバーにとってより役に立つ技術になるだろうとの意見も示された。

- 第3回では前述の通り、先進運転支援システムによる事故抑制効果がシミュレーション分析を通じて検証されつつあることが紹介された。一方で、交通死亡事故類型のうち半分強は未だ現在の運転支援技術でカバーされていないことから、残る類型への対応に向けて技術開発が進められていることが紹介された。また、ユーザーにとって必要なことは製品知識よりも「結果として安全に過ごせる社会」であり、それを実現するための手段として、分かりやすい形でユーザーに運転支援技術を理解してもらうための仕組みが提供されるべきとの指摘がなされ、登壇者の賛同を得た。
2. 参加者の状況および今後の社会的受容性の醸成に向けた課題
- 第1回から第3回にかけて、各回のリピート参加および広報活動の拡充により、参加登録者数は一貫して増加した（335名→391名→472名）。一方で、参加者の属性は一貫して「40-60代」「男性」が80%前後を占めており、より幅広い層へのアプローチが今後に向けての課題と考える。また、視聴者層の重なりが大きかったと考えられる第1回と第2回の間で認知度（「視野障害と運転の問題を知っていた」とする回答の割合）が上昇していることや、自由記述コメントの内容の変遷から、回を追うごとに本ウェビナーの主題に対する認知度が向上していったことがうかがえた。
  - 上記の通り、より幅広い属性の人に認知・受容を広げることを目指すため、2022年度に企画する「自動運転 Live ウェビナー」（仮称）において、若年層へのアプローチに重点を置くこととしたい。視野障害と運転の問題については、同企画のテーマの一部として取り上げられることを計画している。

## 第2章 「SIP 自動運転の取組等、関連最新動向を解説、PR する動画やウェビナーの企画・運営」報告

### I. 企画趣旨

SIP 自動運転の各種取組（仮想空間でのシミュレーション、交通環境情報の活用促進等）やその他の最新動向について、業界関係者や一般市民の理解を促進することを目的として、各種動画の制作・発信を行った。なお、解説動画の作成にあたっては、自動運転を取り巻く法制度整備や技術開発、実証実験、実用化、将来像の進捗や中身について、過信・不信・誤認等を抱かせないように留意しつつ、SIP 自動運転の各種取組の目的・成果等を分かりやすく解説・PR するよう留意した。

### II. 各動画のテーマ及び成果物

#### ■ 2019 年度

YouTube 上に、専用チャンネル「SIP café on Tube」を開設、以下動画を投稿した。



自動運転の技術開発の状況について過信、不信、誤認を防ぐ為の正確な情報発信を実施、自動運転の社会的受容性の向上を図った。

#### ① 自動運転を分かりやすく説明するためのアニメーション（計1本）



#### ② 自動運転技術の現状の開発・実用化の状況

- 現状市販されている自動運転技術を活用した先進運転支援システム（計2本）
  - ・【先進安全運転技術】BMW 3 シリーズ ハンズ・オフ・アシスト【試乗レポート】
  - ・【先進安全運転技術】ニッサン スカイライン プロパイロット 2.0【試乗レポート】
- CES2020 で展示されていた最新の自動運転技術の紹介（計14本）
- 東京モーターショー2019 で展示されていた最新の自動運転技術の紹介（計1本）

#### ③ 東京臨海部実証実験に関する動画（計8本）

#### ■ 2020 年度

専用チャンネル「SIP café on Tube」にて以下動画を制作・投稿し、自動運転を取り巻く法制度整備や技術開発、実証実験、実用化、将来像の進捗や中身を、過信、不信、誤認等を抱かせないように留意しつつ分かり易く解説し、また SIP 自動運転の各種取組の目的、成果等を解説、PR することで、社会的受容性の向上を図った。

- 自動運転技術の開発・実用化の最新動向紹介動画
- 現状市販されている自動運転技術を活用した先進運転支援システム紹介（計8本）
- 自動運転技術の実用化に向けた最新動向を有識者に聞くオンラインインタビュー（計8本）
- 地域における自動運転技術の実用化に向けた取り組み等の紹介（計5本）

➤ SIP 自動運転の各種取り組み等の紹介動画（計 13 本）

■ 2021 年度

SIP 自動運転の Web サイト（SIP-café）において、下表の動画を掲載・発信した（計 72 本）。

公開日	映像タイトル	映像アドレス
2021/4/9	地域自動運転サミット～産学官オールジャパンでの取り組み～	<a href="https://youtu.be/T6FbZKTs4oU">https://youtu.be/T6FbZKTs4oU</a>
2021/4/9	社会受容性シンポジウム～産学官オールジャパンでの取り組み～	<a href="https://youtu.be/UvNeVtBFZ64">https://youtu.be/UvNeVtBFZ64</a>
2021/4/12	自動運転の未来を拓くセンサシミュレーション【DIVP=Driving Intelligence Validation Platform】	<a href="https://youtu.be/8tyZEg3ZFGQ">https://youtu.be/8tyZEg3ZFGQ</a>
2021/4/12	地域自動運転サミット パネルディスカッション第1部	<a href="https://youtu.be/UV36TekMkr4">https://youtu.be/UV36TekMkr4</a>
2021/4/12	永平寺町自動運転出発式	<a href="https://youtu.be/cc0dJOArVHg">https://youtu.be/cc0dJOArVHg</a>
2021/4/14	ボッシュ【東京臨海部実証実験】	<a href="https://youtu.be/ZXkKYRgI1EE">https://youtu.be/ZXkKYRgI1EE</a>
2021/4/14	地域自動運転サミット パネルディスカッション第2部	<a href="https://youtu.be/CW143TcNrPY">https://youtu.be/CW143TcNrPY</a>
2021/4/14	SUBARU【東京臨海部実証実験】	<a href="https://youtu.be/x00dl0az72o">https://youtu.be/x00dl0az72o</a>
2021/4.20	日産自動車【東京臨海部実証実験】	<a href="https://youtu.be/HkQ59PX0Fuc">https://youtu.be/HkQ59PX0Fuc</a>
2021/4/21	コンチネンタル・オートモーティブ【東京臨海部実証実験】	<a href="https://youtu.be/MiXjuvmdx1E">https://youtu.be/MiXjuvmdx1E</a>
2021/4/23	本田技術研究所【東京臨海部実証実験】	<a href="https://youtu.be/yz06pvWhfj8">https://youtu.be/yz06pvWhfj8</a>
2021/4/29	三菱自動車工業【東京臨海部実証実験】	<a href="https://youtu.be/w0Nuf9AyFHQ">https://youtu.be/w0Nuf9AyFHQ</a>
2021/4/30	ティアフォー／損害保険ジャパン／アイサンテクノロジー／フィールドオート【東京臨海部実証実験】	<a href="https://youtu.be/TCqwmDR2Pkc">https://youtu.be/TCqwmDR2Pkc</a>
2021/4/30	スズキ【東京臨海部実証実験】	<a href="https://youtu.be/yn2DT4Qxp4s">https://youtu.be/yn2DT4Qxp4s</a>
2021/4/30	三菱電機【東京臨海部実証実験】	<a href="https://youtu.be/yp8ALrIhEwU">https://youtu.be/yp8ALrIhEwU</a>
2021/5/5	世界初!! 自動運転レベル3 車両、ホンダレジェンドを市販化【試乗レポート】	<a href="https://youtu.be/wiQFueKTJmI">https://youtu.be/wiQFueKTJmI</a>
2021/5/8	道の駅『奥永源寺溪流の里』自動運転サービス 出発式	<a href="https://youtu.be/MmDs2s3SoEY">https://youtu.be/MmDs2s3SoEY</a>
2021/5/21	ダイハツ【東京臨海部実証実験】	<a href="https://youtu.be/JWCN7rUH-po">https://youtu.be/JWCN7rUH-po</a>
2021/6/2	SIP-adus 合同試乗会【イベントレポート】	<a href="https://youtu.be/dqedA7zJqms">https://youtu.be/dqedA7zJqms</a>
2021/6/9	「都市郊外でのこれからの移動支援に向けて」 東京大学 中村文彦 氏【インタビュー】	<a href="https://youtu.be/B3P-jZKqKTI">https://youtu.be/B3P-jZKqKTI</a>
2021/6/26	SIP 自動運転・市民ダイアログ 横浜での取組から考える都市郊外の移動～自動運転の社会実装に向けて Part1	<a href="https://youtu.be/Kvv8eChF460">https://youtu.be/Kvv8eChF460</a>
2021/6/26	SIP 自動運転・市民ダイアログ 横浜での取組から考える都市郊外の移動～自動運転の社会実装に向けて Part2	<a href="https://youtu.be/BXTwOWwBjxI">https://youtu.be/BXTwOWwBjxI</a>
2021/6/26	SIP 自動運転・市民ダイアログ横浜での取組から考える都市郊外の移動～自動運転の社会実装に向けて Part3	<a href="https://youtu.be/nbyUPnSkm_c">https://youtu.be/nbyUPnSkm_c</a>
2021/6/26	SIP 自動運転・市民ダイアログ横浜での取組から考える都市郊外の移動～自動運転の社会実装に向けて Part4	<a href="https://youtu.be/Wf8-P00ZyhQ">https://youtu.be/Wf8-P00ZyhQ</a>

2021/6/26	SIP 自動運転・市民ダイアログ 横浜での取組から考える都市郊外の移動～自動運転の社会実装に向けて Part5	<a href="https://youtu.be/SRbZyJvw8U">https://youtu.be/SRbZyJvw8U</a>
2021/7/12	【令和の緊急提言】八街市児童5人死傷事故から考える『生活道路の安全対策』	<a href="https://youtu.be/LgIVhfv74bY">https://youtu.be/LgIVhfv74bY</a>
2021/7/16	『視野障害と運転』#運転外来 西葛西・井上眼科病院でドライビングシミュレータ体験	<a href="https://youtu.be/qomp0vIWO_U">https://youtu.be/qomp0vIWO_U</a>
2021/8/7	自動運転法整備セミナー	<a href="https://youtu.be/Z7Y1wLVoUCI">https://youtu.be/Z7Y1wLVoUCI</a>
2021/8/13	視野障害について考える SIP-adus ウェビナー『視野障害と自動運転の交叉点①』	<a href="https://youtu.be/H4InU2v_WE">https://youtu.be/H4InU2v_WE</a>
2021/8/13	視野障害について考える SIP-adus ウェビナー『視野障害と自動運転の交叉点②』	<a href="https://youtu.be/4nUDtxdBjs4">https://youtu.be/4nUDtxdBjs4</a>
2021/8/13	視野障害について考える SIP-adus ウェビナー『視野障害と自動運転の交叉点③』	<a href="https://youtu.be/JgLD2CH63XA">https://youtu.be/JgLD2CH63XA</a>
2021/8/13	視野障害について考える SIP-adus ウェビナー『視野障害と自動運転の交叉点④』	<a href="https://youtu.be/x4c1HZZ68eI">https://youtu.be/x4c1HZZ68eI</a>
2021/9/21	【令和の緊急提言】e-Palette と歩行者の接触	<a href="https://youtu.be/Wb90Usp8wQs">https://youtu.be/Wb90Usp8wQs</a>
2021/9/28	運転免許と視野障害～有病者の運転と就労を考える企業の対応例 質疑応答	<a href="https://youtu.be/B9SkENDJVrg">https://youtu.be/B9SkENDJVrg</a>
2021/9/28	運転免許と視野障害～有病者の運転と就労を考える	<a href="https://youtu.be/ZLs0o-LpKD4">https://youtu.be/ZLs0o-LpKD4</a>
2021/9/28	運転免許と視野障害～有病者の運転と就労を考える全編	<a href="https://youtu.be/vhzfKUowvmE">https://youtu.be/vhzfKUowvmE</a>
2021/9/28	運転免許と視野障害～有病者の運転と就労を考えるたじみ岩瀬眼科 院長 岩瀬愛子氏による基調講演	<a href="https://youtu.be/skhS70kYTcw">https://youtu.be/skhS70kYTcw</a>
2021/10/4	自動運転 見聞録 『奥永源寺溪流の里』	<a href="https://youtu.be/oJIAODgSKSc">https://youtu.be/oJIAODgSKSc</a>
2021/12/1	SIP-adus 第2回試乗会レポート	<a href="https://youtu.be/niLVN2QgRSA">https://youtu.be/niLVN2QgRSA</a>
2021/12/1	SIP-adus 第2回試乗会プレスブリーフィング	<a href="https://youtu.be/u6jgW8tQiPM">https://youtu.be/u6jgW8tQiPM</a>
2021/12/9	東京臨海部実証実験 マツダ コパイロットコンセプト	<a href="https://youtu.be/HyCdcJENeeI">https://youtu.be/HyCdcJENeeI</a>
2021/12/20	自動運転見聞録「福岡県 みやま市」	<a href="https://youtu.be/hwsMQWqEINE">https://youtu.be/hwsMQWqEINE</a>
2021/12/22	自動運転見聞録「赤来高原」	<a href="https://youtu.be/NnplCB3Mc_0">https://youtu.be/NnplCB3Mc_0</a>
2021/12/23	メルセデス・ベンツ S, クラス【先進安全運転技術・試乗レポート】	<a href="https://youtu.be/hjdXi5NzkdA">https://youtu.be/hjdXi5NzkdA</a>
2021/12/25	VW ゴルフ 8【先進安全運転技術・試乗レポート】	<a href="https://youtu.be/N9zpq109KhU">https://youtu.be/N9zpq109KhU</a>
2021/12/29	メルセデス・ベンツ A250 e【先進安全運転技術・試乗レポート】	<a href="https://youtu.be/yit43ev_Xbg">https://youtu.be/yit43ev_Xbg</a>
2022/1/19	ホンダレジェンド【先進安全運転技術・試乗レポート】	<a href="https://youtu.be/LVGpgsBnvK8">https://youtu.be/LVGpgsBnvK8</a>
2022/1/21	「HMI とドライバーの過信」を考える 栃岡孝宏氏基調講演	<a href="https://youtu.be/RceDfzQWOCE">https://youtu.be/RceDfzQWOCE</a>
2022/1/21	「HMI とドライバーの過信」を考える 平岡敏洋氏基調講演	<a href="https://youtu.be/hhyVnd8RM-E">https://youtu.be/hhyVnd8RM-E</a>
2022/1/21	「HMI とドライバーの過信」を考える 全編	<a href="https://youtu.be/SUqLF1sZkdY">https://youtu.be/SUqLF1sZkdY</a>
2022/2/4	「ソフトウェアアップデートとサイバーセキュリティ」～新たな基準制度への対応～ 新国哲也 氏 基調講演	<a href="https://youtu.be/52IGsm-ZQQU">https://youtu.be/52IGsm-ZQQU</a>

2022/2/4	「ソフトウェアアップデートとサイバーセキュリティ」～新たな基準制度への対応～ 旭 利夫氏 基調講演	<a href="https://youtu.be/bZM0xzxF4so">https://youtu.be/bZM0xzxF4so</a>
2022/2/4	「ソフトウェアアップデートとサイバーセキュリティ」～新たな基準制度への対応～ 全編	<a href="https://youtu.be/S8RPCVdzYwM">https://youtu.be/S8RPCVdzYwM</a>
2022/2/7	自動運転見聞録 道の駅「かみこあに」	<a href="https://youtu.be/gyqvgi0bAAM">https://youtu.be/gyqvgi0bAAM</a>
2022/2/17	自動運転見聞録「山形県 高島町」	<a href="https://youtu.be/01bk4MS6tvI">https://youtu.be/01bk4MS6tvI</a>
2022/2/26	自動運転見聞録「沖縄県 北谷町」美浜シャトルカート	<a href="https://youtu.be/5G7WWQYyy8M">https://youtu.be/5G7WWQYyy8M</a>
2022/3/1	視野障害と運転支援システム～技術の現在地と未来～ 全編	<a href="https://youtu.be/4bFycXm3eGE">https://youtu.be/4bFycXm3eGE</a>
2022/3/1	視野障害と運転支援システム～技術の現在地と未来～ 名古屋大学未来社会創造機構 特任教授 青木宏文（あおきひろふみ）氏 基調講演	<a href="https://youtu.be/Itm4d1Sd3Zo">https://youtu.be/Itm4d1Sd3Zo</a>
2022/3/1	視野障害と運転支援システム～技術の現在地と未来～ 本田技術研究所 先進技術研究所 エグゼクティブチーフエンジニア 杉本洋一（すぎもとよういち）氏 基調講演	<a href="https://youtu.be/DH084TVMiXU">https://youtu.be/DH084TVMiXU</a>
2022/3/1	視野障害と運転支援システム～技術の現在地と未来～ パネルディスカッション&質疑応答	<a href="https://youtu.be/ysmMe9FQuTA">https://youtu.be/ysmMe9FQuTA</a>
2022/3/8	自動運転見聞録「東京都 西新宿エリア」都心部特有の自動走行困難な営業ルートでの自動運転バス運行実証	<a href="https://youtu.be/K5Auo161JZE">https://youtu.be/K5Auo161JZE</a>
2022/3/11	自動運転見聞録「東京都 西新宿エリア」まちのインフラと協調した自動運転サービスの運行実証	<a href="https://youtu.be/nHh1p_hWWCg">https://youtu.be/nHh1p_hWWCg</a>
2022/3/14	ダイハツ タフト スマートアシスト【先進安全運転技術・試乗レポート】	<a href="https://youtu.be/KDWtzGGWaAI">https://youtu.be/KDWtzGGWaAI</a>
2022/3/28	自動運転見聞録「C+pod ヨコハマ」	<a href="https://youtu.be/RwzHNPmP9Fc">https://youtu.be/RwzHNPmP9Fc</a>
2022/3/28	「モビリティデータの利活用とデータ提供の協調領域」全編	<a href="https://youtu.be/2KAb_3zor4Y">https://youtu.be/2KAb_3zor4Y</a>
2022/3/28	「モビリティデータの利活用とデータ提供の協調領域」パネルディスカッション/Q&A	<a href="https://youtu.be/GT319KwmeNk">https://youtu.be/GT319KwmeNk</a>
2022/3/28	「モビリティデータの利活用とデータ提供の協調領域」松井博司 氏 基調講演	<a href="https://youtu.be/eva8qtqGXW8">https://youtu.be/eva8qtqGXW8</a>
2022/3/28	「モビリティデータの利活用とデータ提供の協調領域」市川博一 氏 基調講演	<a href="https://youtu.be/oPoJ7A10oVM">https://youtu.be/oPoJ7A10oVM</a>
2022/3/28	ニッサン ノート プロパイロット（ナビリンク機能付）【先進安全運転技術・試乗レポート】※再アップ	<a href="https://youtu.be/2ZMbwPHyKjE">https://youtu.be/2ZMbwPHyKjE</a>
2022/3/30	what3words 3ワードを入力するだけでピンポイントで目的地に辿り着ける!! メルセデス・ベンツ C220d 4マチック	<a href="https://youtu.be/1F8Y5TF7-hY">https://youtu.be/1F8Y5TF7-hY</a>
2022/3/31	自動運転見聞録「愛知県 春日井市」石尾台	<a href="https://youtu.be/QGoJ2rAhwwM">https://youtu.be/QGoJ2rAhwwM</a>
2022/3/31	自動運転見聞録「福井県 永平寺町」ZEN drive	<a href="https://youtu.be/1LTDCWz81q8">https://youtu.be/1LTDCWz81q8</a>

## ■ 2022 年度

SIP 自動運転の Web サイト (SIP-café) において、下表の動画を掲載・発信した (計 18 本)。

公開日	映像タイトル	映像アドレス
2022/4/26	ニッサン グラウンド・トゥールース・パーセプション技術【先進安全運転技術・試乗レポート】	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=RrUCMWMvkvc">https://www.youtube.com/watch?v=RrUCMWMvkvc</a>
2022/5/16	マツダ MX-30 Self-empowerment Driving Vehicle【運転支援技術・試乗レポート】	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=7mJSXZnDMSk">https://www.youtube.com/watch?v=7mJSXZnDMSk</a>
2022/5/21	第 2 回 KYOTO 楽 Mobi コンテスト 第 1 回 事前イベント「京都の課題を深堀しよう！」【龍谷大教授・京都市ほか登壇】	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=7c0mJNGaix4">https://www.youtube.com/watch?v=7c0mJNGaix4</a>
2022/6/3	スバル BRZ アイサイト【先進安全運転支援技術・試乗レポート】	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=McX510CHjoI">https://www.youtube.com/watch?v=McX510CHjoI</a>
2022/6/7	住友ゴム センシングコア【先進安全運転支援技術・試乗レポート】	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=mTghZczF4No">https://www.youtube.com/watch?v=mTghZczF4No</a>
2022/6/13	スバル レヴォーグ アイサイト X【先進安全運転支援技術・試乗レポート】	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=fv4_WwkLWPK">https://www.youtube.com/watch?v=fv4_WwkLWPK</a>
2022/6/20	トヨタ MIRAI アドバンスドドライブ【先進安全運転支援技術・試乗レポート】	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=XorW04SFjR4">https://www.youtube.com/watch?v=XorW04SFjR4</a>
2022/9/13	BMW iX3 ドライビング アシスト プロフェッショナル【先進安全運転支援技術・試乗レポート】	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=dUxiDMuLqUI">https://www.youtube.com/watch?v=dUxiDMuLqUI</a>
2022/9/16	キャデラック XT6【先進安全運転支援技術・試乗レポート】	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=J-b3x137RQc">https://www.youtube.com/watch?v=J-b3x137RQc</a>
2022/9/20	ルノー ルーテシア E-TECH HYBRID イージードライブ【先進安全運転支援技術・試乗レポート】	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=wk0R9rdoqDE">https://www.youtube.com/watch?v=wk0R9rdoqDE</a>
2022/9/22	BMW i4 M50 ドライビング アシスト プロフェッショナル【先進安全運転支援技術・試乗レポート】	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=g__45YYPkuQ">https://www.youtube.com/watch?v=g__45YYPkuQ</a>
2022/10/10	三菱アウトランダー マイパイロット/e-Assist【先進安全運転支援技術・試乗レポート】	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=axRHuM2FN60">https://www.youtube.com/watch?v=axRHuM2FN60</a>
2022/11/30	スズキ アルト スズキセーフティサポート【先進安全運転支援技術・試乗レポート】	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=SbuzHYwi20o">https://www.youtube.com/watch?v=SbuzHYwi20o</a>
2023/2/22	東京臨海部実証実験「V2N=Vehicle to Network」	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=aC-gZorKups">https://www.youtube.com/watch?v=aC-gZorKups</a>
2023/2/22	トヨタ ヴォクシー セーフティセンス【先進安全運転支援技術・試乗レポート】	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=Zqeavkqd9j0">https://www.youtube.com/watch?v=Zqeavkqd9j0</a>
2023/3/5	SIP 自動運転 第 3 回合同試乗会【Part1】	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=fz_jjGycJE_4">https://www.youtube.com/watch?v=fz_jjGycJE_4</a>
2023/3/5	SIP 自動運転 第 3 回合同試乗会【Part2】	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=NyD8qTIpzfE">https://www.youtube.com/watch?v=NyD8qTIpzfE</a>
2023/3/5	SIP 自動運転 第 3 回合同試乗会【Part3】	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=7Cc_j-Mixjio">https://www.youtube.com/watch?v=7Cc_j-Mixjio</a>

## III. 成果と考察

### ● 成果

社会の幅広い層に対し、自動運転技術の社会実装に向けた取組や最新動向を訴求することを目的として取り組んできた結果、以下の通り多くの方々にご視聴いただくことができた。

- SIP café on Tube チャンネル登録者数：921 人(2023 年 3 月 23 日現在)
- 同 延べ視聴回数：151,167 回(同上)
- 主要コンテンツ視聴回数

【先進安全運転支援技術・試乗レポート】

- BMW 3 シリーズ／ハンズ・オフ・アシスト：1.1 万回

- ボルボ V60／インテリセーフ (INTELLISAFE) : 9,761 回
- メルセデス・ベンツ S クラス／インテリジェントドライブ : 5,999 回、など
- 考察
 

上記の通り、数多くの方々にご視聴いただけた一方で、より一層の浸透・機運醸成を図るには、接点(SNS チャンネル)の多様化への対応や、よりインタラクティブなコミュニケーションによる関心喚起の他、自動運転技術や車両を実体験できる場の提供なども必要になると思われる。

#### IV. その他、SIP 自動運転の各取組の広報支援

##### ◆ DIVP 事業化記者発表会運営支援

###### ➤ 背景

SIP 自動運転では、シミュレーションによる自動運転車両の安全性評価手法を確立すべく、2018 年から、学校法人幾徳学園 神奈川工科大学、BIPROGY 株式会社及び三菱プレジジョン株式会社を中心とする DIVP (Driving Intelligence Validation Platform) コンソーシアムが参画し、産学官のオールジャパン体制で「仮想空間における安全性評価環境の構築」に取り組んできた。

###### ➤ 事業化および記者発表会の趣旨

上記 DIVP の研究成果を基にセンサシミュレーションの事業化が行われ、2022 年 7 月、BIPROGY 株式会社の出資によって新会社「V-Drive Technologies 株式会社」が設立された。本件事業化にあたり、SIP 自動運転メンバー、新会社社長、DIVP プロジェクト参画企業等によって記者発表会が行われた。当社は、本記者発表会の映像・配信関連業務について業務支援を行った。

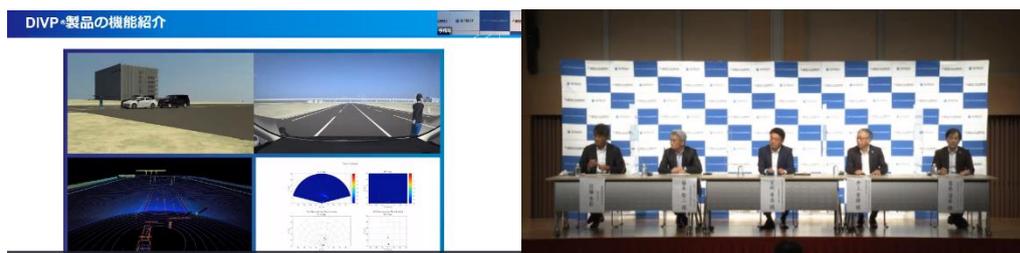
###### ➤ 記者発表会の概要

◇ 日時：2022 年 9 月 6 日 (火) 13:00-14:00

◇ 会場：JP TOWER Hall & Conference 4F 『ホール 1+2』

(東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 2 号 KITTE 4-5 階)

◇ 名称：「自動運転における安全性評価環境プラットフォーム DIVP 事業化および会社設立に関する発表会」



➤ 報道

下表のとおり。

No	掲載日	媒体	媒体名	記事タイトル
1	9月6日	Web	時事通信ニュース	ビプロジー、自動運転車の安全評価基盤を製品化
2	9月6日	Web	時事通信ニュース発 Yahoo!ニュース	ビプロジー、自動運転車の安全評価基盤を製品化
3	9月6日	Web	LogisticsToday	BIPROGY、自動運転安全性評価 PF 製品の提供開始
4	9月7日	新聞	日刊工業新聞 3面	ビプロジーが新会社 仮想空間基盤提供 自動運転の安全性評価
5	9月7日	Web	日経モビリティ	BIPROGY、仮想空間で安全評価 検証時間 10分の1以下
6	9月7日	Web	レスポンス	ビプロジー、新会社を設立して自動運転車 安全評価のためのプラットフォームを提供
7	9月8日	新聞	電波新聞 3面	自動運転の安全性評価へ プラットフォーム 提供開始 BIPROGYが新会社

◆ KYOTO 楽 Mobi コンテスト運営支援

内閣府・SIP 自動運転では、高度に智能化するモビリティが持つデータや、交通インフラからの交通環境情報、さらに多様な生活情報を連動させることで、様々な社会課題の解決に貢献するデータ利活用を目指しているが、その取組の一環として、地域における観光・交通・物流に関する課題解決を目指すアプリコンテスト「KYOTO 楽 Mobi コンテスト」が開催された。また、同時開催の「Society5.0に向けたモビリティデータ利活用セミナー」では、Society5.0の下でのデータマッチングによる可能性と課題や、KYOTO 楽 Mobi コンテスト実践を通じた学びについて議論が行われた。弊社では、このコンテストの模様を Web でライブ配信する業務等の運営支援を行った。

【第2回 KYOTO 楽 Mobi コンテスト・Society5.0に向けたモビリティデータ利活用セミナー概要】

- ・ 日時：2022年12月11日(日) 9時30分～16時
- ・ タイムスケジュール：
  - 9時30分～12時30分：KYOTO 楽 Mobi コンテスト 最終選考会（ファイナリストによるプレゼンテーション）
  - 13時30分～15時：Society5.0に向けたモビリティデータ利活用セミナー
  - 15時10分～16時：KYOTO 楽 Mobi コンテスト 表彰式（「歩くまち・京都賞」「SIP自動運転賞」ほか7賞の発表・授与式）

以上